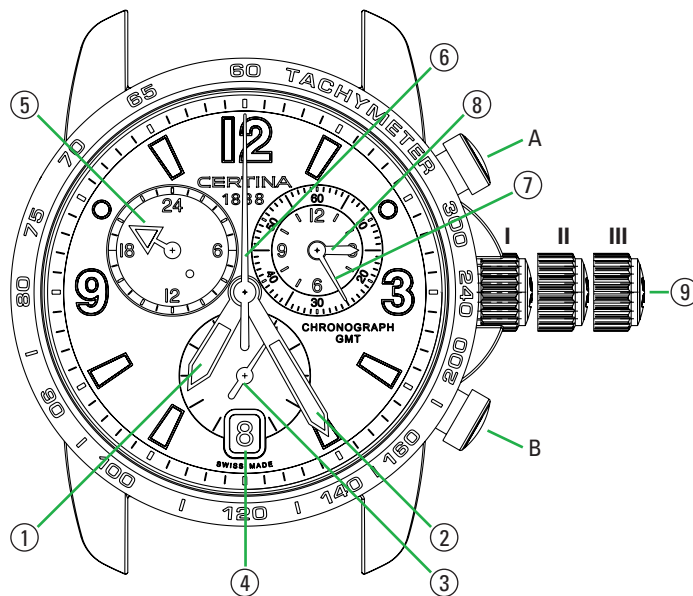


クォーツ クロノグラフ GMT

取扱説明書



- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針
- ④ 日付表示
- ⑤ GMT (第2時間帯 - 24時間表示)
- ⑥ センター 60秒計 (クロノグラフ)
- ⑦ 60分積算計 (クロノグラフ)
- ⑧ 12時間積算計 (クロノグラフ)

⑨ 3段階式リユース

- I 通常位置 (締められた状態*, 引き出されていない)
- II 日付調整位置 (緩められた状態*, 中間まで引き出されている)
- III 時刻調整位置 (緩められて状態*, 完全に引き出されている)

* ねじ込み式リユース モデル



- IA 初期位置 (締められた状態、引き出されていない)
- IB 通常位置 (緩められた状態、引き出されていない)

はじめに

このたびはCERTINA® ウォッチをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。CERTINA®はスイスが誇る世界で最も高く評価されている時計のひとつです。高品質の素材と部品を使用し、細部に至るまで綿密に設計されたこの時計は、衝撃や温度変化に強く、防水性と防塵性を備えています。

本取扱説明書はCERTINA® クォーツ クロノグラフ GMT (ムーブメント G10) 用です。クロノグラフの調整、使用については取扱説明書の該当するモデルの部分を参照してください。

お買い上げ頂きましたクロノグラフは12時間までの継続時間計測が可能です。また、下記の機能を備えています。

- － スタート/ストップ 標準機能
- － ラリー加算 (積算時間計測) 機能
- － スプリット (経過時間計測) 機能

弊社では厳しい品質検査を行った上で製品をお届けしていますが、末長くご愛用いただくために、取扱説明書をよくお読みの上、お使いいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

調整のしかた

ねじ込み式リューズ モデル

防水性をさらに高めるために一部のモデルには、ねじ込み式リューズを採用しています。位置ⅡまたはⅢにリューズを引き出すには、リューズを緩めて位置ⅠBにしておく必要があります。

重要：防水性を保つために、操作後は必ずリューズを締め直しておいてください。

時刻合わせ

位置Ⅲまでリューズを引き出すと秒針が停止します。リューズを手前 (6時方向) または奥 (12時方向) に回して希望の時刻に設定します。時刻を合わせたらリューズを位置Ⅰに押し戻します。時計が12時を越えるときに日付が変われば午前零時、変わらなければ正午です。

正確に時刻を合わせる方法

正確な時報 (ラジオ、テレビ、インターネットなど) に合わせるには、秒針 (3) が60を指した瞬間にリューズを位置Ⅲまで引き出します。秒針が停止します。時報が鳴る瞬間にリューズを位置Ⅰに押し戻します。

巻き上げ

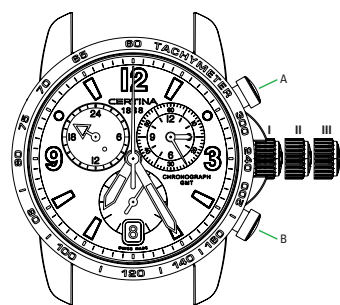
クォーツ クロノグラフは巻き上げの必要はありません。

日付の即時修正

リューズを位置Ⅱまで引き出し、リューズを手前に回転させて希望の日付を表示させます。

タキメーター (タキメーター付きモデル)

タキメーターによって一定の速度で移動するものの速度が計測できます。時間計測を始めてから1 km 移動した時点で計測をストップします。そのときにタキメーター目盛り上でクロノグラフ針が指している数字が時速を表示します。



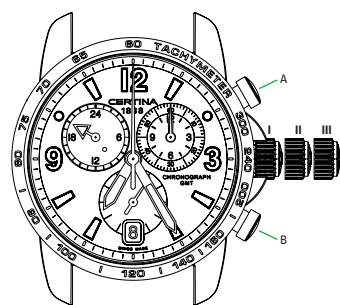
GMTのリセット (第2時間帯 - 24時間表示)

24時間 GMT カウンターは 次の手順で希望の時刻に設定することができます。

- GMT 針の調整：
 - リューズ位置Ⅲ
 - プッシュボタン A を押すと針は時計回りに動きます
 - プッシュボタン B を押すと針は反時計回りに動きます

ボタンを短く1回押すと時刻が10分進みます。

ボタンを長く (1秒以上) 1回押すと時刻が1時間進みます。



クロノグラフのリセット

時間計測の前にカウンターはゼロに戻っている必要があります。必要があれば、次の手順でリセットを行ってください。

- 60秒計カウンターのリセット：
 - リューズ位置Ⅱでプッシュボタン A を押す
- 12時間積算カウンターのリセット：
 - リューズ位置Ⅱでプッシュボタン B を押してからプッシュボタン A を押す

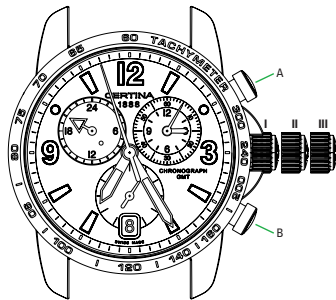


図1

単純時間計測

「単純時間計測」機能により個別の経過時間の計測が行えます。

A スタート

A ストップ

時間の読み取り (図1の場合)

- 3時間
- 5分
- 57秒

B リセット

ご注意: 時間計測の前には必ず、クロノグラフ針を元に戻してください。必要であれば、**クロノグラフのリセット**の章を参照してください。

備考: 時間計測の機能は全て、リユース位置 **I** で操作してください。

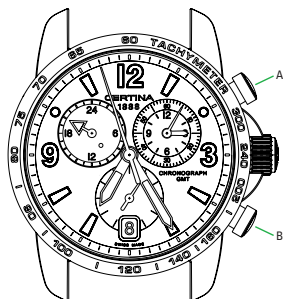


図2

ラリー加算 (積算時間計測) 機能

ラリー加算機能は、連続計測ができ、計測を一時停止させる機能です。計測途中でリセットする必要はありません (但し、停止中の時間は含みません)。各計測結果はそれ以前の計測時間に加算されます。(図2)

A スタート

A ストップ **時間の読み取り**

A 再スタート

A ストップ **時間の読み取り**

A 再スタート

A ストップ **時間の読み取り**

B カウンターのリセット

スプリットタイム機能

スプリット機能により、時間計測中でも針を一時的に停止することができ、全体時間と途中の経過時間を計測することができます。再スタート時にクロノグラフ針が全体の経過時間まで進みます。

A スタート

B スプリット 1

時間の読み取り (図1の場合)

- 3 時間
- 5 分
- 57 秒

B 再スタート (針が早送りされます)

B スプリット 2

時間の読み取り (図3の場合)

- 4 時間
- 45 分
- 20 秒

B 再スタート (針が早送りされます)

A ストップ

合計時間 (積算時間) の読み取り (図4の場合)

- 7 時間
- 55 分
- 45 秒

B カウンターのリセット

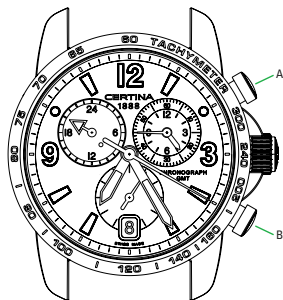


図3

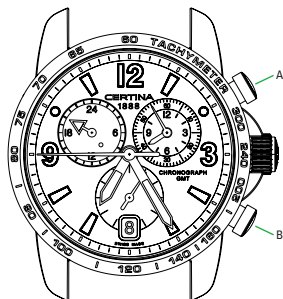


図4

GMTの読み取り (第2時間帯 - 24時間表示)

GMTカウンターは時針を備えています。この時針により設定した第2時間帯の時刻がわかります。
時刻の読み取り：15時 (図5の場合)

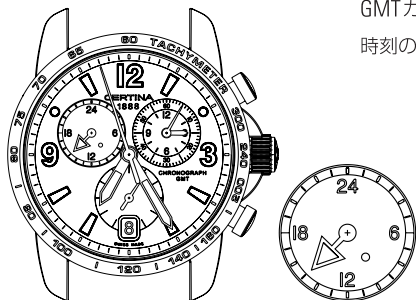


図5

使用上のご注意

- アフターサービスは、お買い求めの販売店またはCERTINA®取扱店までご用命ください。
- 防水性を長く保つために、ガラス・プッシュボタン・パッキンなどに異常がないか、1年に1度、防水点検することをおすすめします。
- 水中でのプッシュボタン・リュースの操作は行わないでください。水入りの原因になります。
- 海水に浸った後は、真水で洗うことをおすすめします。ステンレス製であっても、汗や海水による塩分が、サビや腐食の原因になります。
- メタルブレスレットの隙間のゴミは、柔らかいブラシで水洗いすることにより除去することができ、清潔に保てます。中性洗剤を併用するとさらに効果的です。
- 水洗いした後は、乾いた布などで十分に水分をふき取ってください。
- 温度や湿度の変化が激しい場所、直射日光の当たる場所、強い磁気のある場所に時計を放置しないでください。

CERTINA® クロノグラフは高精度なクォーツムーブメントを搭載しています。電池寿命は約2年間です。数週間、数ヶ月間など長期間時計を使用しない場合は、リュースを位置IIIに引き出して保管することをおすすめします。それによってモーターへの電気供給が中断され、電池寿命が大幅に延長されます。

電池交換

電池が切れたら、電池交換を行ってください。E.O.L. (バッテリー切れ予告機能) 付きの時計は電池切れが近くなると、秒針が4秒遅針を行います。そうしましたら、早めに電池交換することをおすすめします。

電池のタイプ：ボタン型酸化銀電池 1.55 V, N° 394, SR 936 SW

寿命がきたクォーツ時計の回収と取扱いについて*



この記号は、本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、環境および人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

* EU加盟国およびこれに対応する法律がある国に適用されます。